

門二奴J4
務 719
卷 1-5

法橋保國畫圖

野山草

浪華書舗 稱觥堂版



畫本野山草叙

四時行ハ物來成中ニ山原
水澤の草花愛す多ク地物若干
各色成競ふニ標漫書り加志
測明ガ業を志シ茂叔ガ蓮も
愛するの類ハ其操をとりにあ
とるは是賢者の物を志スハ志也



畫本野山草序

心

心

表のさし〜て真子慶す種を〜予家
世し画を嗜む華越取て恒能
産と依て今草花図せんと欲
〜或る山野に道通〜或る
樹の如し徘徊〜と見るとその花を
携り一葉成袖〜と其名を尋ね
真偽を辨〜漢名に至てハ本草

三才圖會に依て是を訂〜新志
の如くハ出知成追して名を記す爰に
其佳ある物數十種成撰寫し題而
畫本冊に山草といふ今幸に涇川氏の
齋に應〜と梓に鏤り免聊量出蒙
能便り〜且凡草花ハ境土に寒暖
肥瘦に〜りて國々の形容同〜

花系ともに異阿り々益する亦眼の
あつり閑る所を是とす處を巻を
開くは是を奈せむ孝とせむ

浪華

法橋保國



畫本野山草卷之一目錄

- | | | | | | | | |
|---------------------------|---------------------------|---------------------------|-------------------------|--------------------------|----------------------------|--------------------------|----------------------------|
| 桔梗 <small>ききょう</small> | あや鬼 <small>あやおに</small> | 白木 <small>びやくもく</small> | 敦盛草 <small>あつなり</small> | 甘菊花 <small>かんきくは</small> | 紫蕙 <small>むらさき</small> | 花蔓草 <small>けまんそう</small> | 熊谷草 <small>くまぐさ</small> |
| 麻子百合 <small>あしこゆり</small> | 春すゆり <small>はるすゆり</small> | 銀糸巻 <small>ぎんいとまき</small> | ほろ草 <small>ほろくさ</small> | 紫蕙 <small>むらさき</small> | 花蔓草 <small>けまんそう</small> | 熊谷草 <small>くまぐさ</small> | 馬藟 <small>ばらい</small> |
| 桔梗 <small>ききょう</small> | 羽衣 <small>はねえ</small> | 仙翁花 <small>せんおうけ</small> | 午時花 <small>ごじけ</small> | 菊 <small>きく</small> | 一丈草 <small>いちじょうそう</small> | 夕錦 <small>ゆふにしき</small> | 小菫草 <small>せうしよんそう</small> |
| 志と法け <small>しとほけ</small> | 芙蓉 <small>ふよう</small> | 山藤 <small>やまふぢ</small> | | | | | |

畫本野山草

甘 菊 花



南陽酈縣シイケン甘谷アリ水甘美之上多菊アリ水ニ落テ流下ル谷中ノ
人家此水ヲ飲上壽八百三十三中百廿余歳七八十ヲハ夫トスルナリ

阿含草

紅黃草

冬草

高麗菊

時計蘭

澤桔梗

丁子草

かこゆり

まもろ花

くろ草

秋菊

小柳

大槩こごめゆさ大ゆれ大ゆれ

山杜鵑

秋薊

燕麥

樹金

立葵

戎葵千瓣

岩石蘭

岩薔

風蘭

石斛

狗脊

黃蕙

花
葛
草



花
エン
シク
ク

紫
葛
草



熱谷草 (くまぐさ)



花ノウチナノ白六
 花コフシウス生エニシク
 ホシクサノシルスニ日

敦盛草 (あつなり)

花地白キツトサキヨリ
 生エニシク内ノヨリ向
 々ノスニホシ生エニシ

ほろろ草



豊後守山草一

四

馬こ
菖ろん



豊林野山草一

五

馬こ
菖ろん



豊林野山草一

四

甘菊花 十一年

唐本草菊花一名女節一名女華劉蒙菊譜三十
五品又三十二品范石湖菊譜七十二種今不止
一種甘菊莖紫氣香味甘花深黃單葉有粥膜衣
者為真取花作糕并鹹烹飲佳又有鴛鴦菊五月
菊六月菊陸龜蒙有把菊賦曾端伯以為佳友

忘らん 三日月花咲
けいふた云 儻白及
のびてらん乃... 紫色のむさくたのら
ああり... 紫のら... 紫のら... 紫のら...
さた... 紫のら... 紫のら... 紫のら...
白一種... 紫のら... 紫のら... 紫のら...

けいふた云 儻白及
のびてらん乃... 紫色のむさくたのら
ああり... 紫のら... 紫のら... 紫のら...
さた... 紫のら... 紫のら... 紫のら...
白一種... 紫のら... 紫のら... 紫のら...

けいふた云 儻白及
のびてらん乃... 紫色のむさくたのら
ああり... 紫のら... 紫のら... 紫のら...
さた... 紫のら... 紫のら... 紫のら...
白一種... 紫のら... 紫のら... 紫のら...

けいふた云 儻白及
のびてらん乃... 紫色のむさくたのら
ああり... 紫のら... 紫のら... 紫のら...
さた... 紫のら... 紫のら... 紫のら...
白一種... 紫のら... 紫のら... 紫のら...

けいふた云 儻白及
のびてらん乃... 紫色のむさくたのら
ああり... 紫のら... 紫のら... 紫のら...
さた... 紫のら... 紫のら... 紫のら...
白一種... 紫のら... 紫のら... 紫のら...

けいふた云 儻白及
のびてらん乃... 紫色のむさくたのら
ああり... 紫のら... 紫のら... 紫のら...
さた... 紫のら... 紫のら... 紫のら...
白一種... 紫のら... 紫のら... 紫のら...

書林早山草



銀錢花

らんき

白木



春すゝゆり



畫本野山草

萬葉
藻蓀



一丈人草

畫本野山草



夕
錦

草木部



午
時
花

草木部



羽衣草
えんぎそう

仙花
せんか

内朱
うちしゆ
 外
ぐわい
 辛
しん



麻子百合
ましりやく

本草綱目卷之...

午時花一名金錢花

葉のくさらずまよふ似てさざざりて花のくさらずけのまよふ似てさざざりて花のくさらずけのまよふ似てさざざりて

花のくさらずけのまよふ似てさざざりて花のくさらずけのまよふ似てさざざりて花のくさらずけのまよふ似てさざざりて

花のくさらずけのまよふ似てさざざりて花のくさらずけのまよふ似てさざざりて花のくさらずけのまよふ似てさざざりて

花のくさらずけのまよふ似てさざざりて花のくさらずけのまよふ似てさざざりて花のくさらずけのまよふ似てさざざりて

花のくさらずけのまよふ似てさざざりて花のくさらずけのまよふ似てさざざりて花のくさらずけのまよふ似てさざざりて

花のくさらずけのまよふ似てさざざりて花のくさらずけのまよふ似てさざざりて花のくさらずけのまよふ似てさざざりて

花のくさらずけのまよふ似てさざざりて花のくさらずけのまよふ似てさざざりて花のくさらずけのまよふ似てさざざりて

花のくさらずけのまよふ似てさざざりて花のくさらずけのまよふ似てさざざりて花のくさらずけのまよふ似てさざざりて

剪秋羅花有五種春夏秋冬各以時名春夏

二羅色黃紅不佳獨秋冬紅深色美亦在春

時分種又一種色金黃美甚名金剪羅

のこざりて葉一葉一二十莖葉のつらさ人むりて葉のつらさ人むりて葉のつらさ人むりて

此本草圖經等其生如蒿作叢高五六尺一本一

二十莖秋後有花出於枝端紅紫色形如菊形能

合之○史記龜策傳言著狀極怪妄悉不可信惟

神之爾○詩經浸彼苞苳葛風下朱註著莖草也



志色けけ

書本野山草一

三



桔梗

小菀草

書本野山草一

三



内スシ生エシシ
外コフシ

言本里山草

十四



芙^ふ蓉^{りょう}

言本里山草

十三



山友
也

高麗菊



地ノクマシ
コキヤノアミシ
あしゆい



紅黃草



アミシ

車油草
半蓮

紫矢若の... ひろがりてまのびど...

花のいろ... 葉のいろ...

葉のいろ... 花のいろ...

花のいろ... 葉のいろ...

葉のいろ... 花のいろ...

花のいろ... 葉のいろ...

葉のいろ... 花のいろ...

花のいろ... 葉のいろ...

葉のいろ... 花のいろ...

花のいろ... 葉のいろ...

時斗紫



沃桔梗

きうい草



まゆてんね



畫本予山草一

〇一九

丁子草



かこる石

蒼玉シダ
同ク、
ニホイ青

畫本予山草一

〇一九

大般若 たいはんざつ



生エシラニ
ヨシワカ

大ゆれ たいゆれ



すいしん

小 こ
掬 く

こくね
めいね

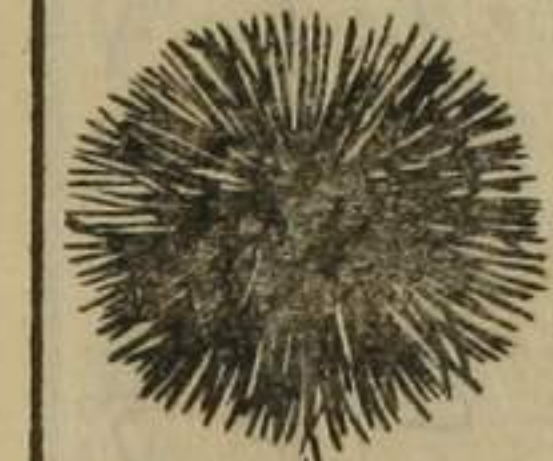
檜合

スミヤキイロ
スミヤキハ白



燕麦

地白六
生エンカク



秋薊



山杜鵑

畫本野山草

我葵千瓣
あまのあざみ



畫本野山草一

二二二

立葵
あまのあざみ



畫本野山草一

二二二

石斛せきこく

風藻ふうそう



生エシク

本草綱目卷之四十一

二十四

岩石蘭がんせきらん

岩藻いがんそう



本草綱目卷之四十一

二十五

山郭公
時鳥菜

花のくちつひのやしきさくさく色いさきものねれ
あしきちつひのやしきさくさく色いさきものねれ

かぶらや

漢名燕麥 系雀麥
花もまゝおきしらむさき
七月より九月まで

平紅帯

系紅帯菜
花もまゝおきしらむさき
七月より九月まで

うらん草

系うらん草
花もまゝおきしらむさき
七月より九月まで

芥子

系芥子
花もまゝおきしらむさき
七月より九月まで

芥菜

系芥菜
花もまゝおきしらむさき
七月より九月まで

戎菜

系戎菜
花もまゝおきしらむさき
七月より九月まで

蜀葵

又唐赤と云はむの中赤
系蜀葵
花もまゝおきしらむさき
七月より九月まで

石菘

系石菘
花もまゝおきしらむさき
七月より九月まで

石菘

系石菘
花もまゝおきしらむさき
七月より九月まで

石菘

系石菘
花もまゝおきしらむさき
七月より九月まで

石菘

系石菘
花もまゝおきしらむさき
七月より九月まで

石菘

系石菘
花もまゝおきしらむさき
七月より九月まで

石菘

系石菘
花もまゝおきしらむさき
七月より九月まで

石菘

系石菘
花もまゝおきしらむさき
七月より九月まで

とつ又天人養ともいふ梅んとつありまは茎のどく小
えさうれあし〜 極さうさう花さうりり〜

石斛又さう系と似てあつ〜 少く〜 茎はひげさ〜
本斛と云々 くりり〜 花風んと〜 又さうさう松栢
むみさり 皮さうは〜 正二月花さう

石斛生六安山谷水傍石上今荆州廣州郡及温合

州亦有之以廣南者為佳多在山谷中五月生苗莖

似竹節節間出碎葉七月開花十月結實其根細長

黃色七月八月採莖以桑灰湯沃之色如金陰乾用

ほりびび〜 花の〜 ちや〜 ちの〜 ちの〜

る〜 あり〜 びび〜 葉の〜 ぬりり〜 びび〜 びび〜

うり〜 びび〜 風車の〜 ちら〜 似〜 ちら〜 ちら〜
あふ〜 びび〜 びび〜 びび〜 びび〜 びび〜 びび〜



つらご
約種かた

黄蘗

黄蘗は人よ似てひろくやうやくなりてそのくちらんのよ
し色はうらなをり葉はうらなをりしものあり葉のり
のとありしをさりしものもほいんぞさすことあるも
根はうらなをりかんぞさすことあるも

黄蘗



